

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	全頸部分枝温存 Preemptive TEVAR の治療成績		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、発症から1年以内の大動脈解離に対するステントグラフト術を脳に繋がる血管である頸部分枝（頸動脈や鎖骨下動脈）の血流の温存を順行性に温存した形で行い、その治療成績を評価することです。具体的に大動脈リモデリング（解離部分の改善）の有無を評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016年1月から2025年11月までの間に東京慈恵会医科大学附属柏病院外科で、発症後365日までの大動脈解離に対してバイパスやコイル塞栓を併用することなくステントグラフト術を行った18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、併存疾患、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、内服薬、疾患情報、手術成績	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科
		氏名	村上 友梨
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年6月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科 研究責任者：教授 戸谷 直樹（とや なおき） 電話番号：04-7164-1111（内線3740） 対応時間：平日09：00～16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。